

御嶽山

2012年4月15日(日) 晴れ

L:池田T、いぶ

おんたけスキー場から御嶽山を山スキーで往復した。
スキー場は既に今シーズンの営業を終了している。一方で田の原までの道路は八海山で通行止め。
ゲートの前に車を止め、誰もいないゲレンデをハイクアップしていく。

ゲレンデトップから田の原に下り、鳥居を過ぎて御嶽山を正面に見ながら登拝路を進んでいく。
樹林帯を抜けると山頂に向って大斜面が広がる。
その斜面をスキーで直登する先行パーティーが見えたが、我々は概ね夏道（稜線上）を登った。

登るにつれて斜度はキツくなり、スキーアイゼンを付けていても登るのが厳しくなってきた。
斜面はクラストしているので滑落が怖くなり、スキーを脱いでアイゼンに切り替えた。

アイゼン歩行は安心感があるが、スキーを背負って登るのは楽ではない。
3000m近い標高で酸素が薄いこともあると思うが非常に疲れる。

急斜面を慎重に登って王滝頂上に上がる。社殿にスキーをデポして剣ヶ峰に向う。
風に飛ばされるために積雪は少なく、岩があちこち出ている。
剣ヶ峰からは360度の展望が得られた。乗鞍・穂高、白山、中央アルプス、南アルプスと中部地方の大半の山峰を眺めることが出来た。

王滝頂上に戻って滑降の準備を整える。午前中は固かった雪面も徐々に緩んできた。
これなら問題なく滑降できる。とは言え滑り始めは緊張する。
なるべく斜度が緩い所を選んで滑り始めた。滑り降りるにつれて体が慣れてくると雪がほどよく柔らかくなって、快適な滑降となる。
斜面を登ってくる山スキーヤーを尻目に我々はノートラックの斜面にシュプールを刻んでいく。

田の原の鳥居からゲレンデトップまではスキーを担ぎ、そこから駐車場まで再び快適な滑降となる。
天候に恵まれて非常に快適な山スキーだった。



田の原まで車で入れるのは4/27から



誰もいないゲレンデを登っていく



王滝頂上はもうすぐ



剣ヶ峰からの眺め。乗鞍・穂高方面



凍てつく社殿



パウダーとはいかないが、滑りやすい雪面。



快適な滑降。正面は田の原。



滑ってきたルートを振り返る

<タイム> 八海山駐車場6:05-ゲレンデトップ7:30-田の原山荘7:45-王滝頂上10:40-剣ヶ峰11:10~11:30-王滝頂上11:50~12:15 -田の原13:00-駐車場13:30